

平成 2 5 年

第 3 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 5 年 6 月 3 日

平成25年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項についてご報告をさせていただきます。

【教育総務課】

◇教育委員会会議録のホームページへの公開について

教育委員会では、教育委員会の会議録（定例会及び臨時会）を市のホームページに公開するため、これまで協議、検討を進めて参りましたが、本年度の会議録からホームページに公開することといたしました。

会議録は、音声記録を基に作成し、教育委員全員から内容の確認をいただいて、翌月の定例教育委員会で署名等の手続きを行っております。

公開にあたっては、署名いただいた会議録に基づき、個人情報など非公開とすべき内容を削除するなど、公開する内容を精査しホームページにアップしたいと考えております。

【教育指導課】

◇仙北市育英奨学資金の貸与者の決定について

昨年度から一本化された「仙北市育英奨学資金」に、今年度は、高校3人、高校専攻科1人、専門学校5人、短大3人、国公立大学3人、私立大学6人の合計21人（昨年度19人）の申請がありました。

4月30日に仙北市育英奨学資金運営審議会（市内中学校・高等学校長、学識経験者、地域センター長 8人）を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、申請された21人全員が、平成25年度奨学生として教育委員会に答申され、5月22日の教育委員会定例会において、答申どおり決定されました。

【田沢湖図書館】

◇テーマ展示等について

4月20日から5月19日まで、鉄道をテーマとした「レールファンタジー」を開催いたしました。これは、季節ごとに行っているテーマ展示の一環として開催したもので、期間中、鉄道ファンや親子連れなど、426人の方々にご来館いただき、好評を得ることができました。

また、5月25日に今年度第1回目の「朗読コンサート」を開催しました。参加者は、ピアノの音色と詩の朗読で表現された「春の宵」を堪能しました。この「朗読コンサート」は、今後も継続的に開催し、市民の皆さんに憩いのひとときを提供して参ります。

【国民文化祭推進室】

◇国民文化祭キックオフイベントについて

5月26日に、仙北市民会館を会場に仙北市国民文化祭キックオフイベント「テーマソング発表コンサート」を開催しました。

当日は、第29回国民文化祭・あきた2014のテーマソング「僕たちの未来」を担当した、仙北市出身のha-jさん、仙北市在住の大木彩乃さんのグループ「AKITA smile-face」によるテーマソングのライブ発表がありました。その他にも「ストリートダンス角館スクール」の子供たちのダンス、「早川みかTAPダンススタジオ」のタップダンス、来年の本番【佐藤貞子～秋田おばこ物語～】に出演予定の佐藤貞子の踊りを継承する「高橋キヌ子社中」の踊り、【大正琴の祭典】の『大正琴「花かげ会」』の発表があり、来年の国民文化祭に向かって会場は大いに盛り上がりました。

県からもスギッチが応援に駆けつけ、市職員とともに国民文化祭のPRを行いました。前日は、県主催の「国民文化祭500日前イベント」として、秋田市でもテーマソングの発表コンサートが開催され、今回のイベントとの相乗効果も大きかったと思われます。

なお、この日から防災無線で、テーマソングを市内全域に流し、

国民文化祭のPRを積極的に推進しております。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「樋口一葉」展等について

4月20日から5月26日まで、日本近代文学館の協力のもと「樋口一葉」展を開催いたしました。「たけくらべ」の自筆原稿をはじめ、一葉の文学作品と24年8カ月の生涯を紹介した展示は、期間中1,476人の皆様にご来場いただき、多くの方々の好評をいただきました。

また、「樋口一葉」展開催期間中の4月28日、総合情報センターのラウンジにおいて、文学館朗読ボランティア「やさいの花」のメンバーによる「春爛漫 一葉を偲ぶ朗読会」が行われました。朗読会では、「十三夜」を情緒豊かに読み上げ、来館された聴衆を魅了し、企画展に花を添えました。

【スポーツ振興課】

◇チャレンジデー2013について

5月29日に、全国一斉の住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2013」が開催され、仙北市も3年連続で参加いたしました。

田沢湖生保内下高野地区のホテルタザワで開会セレモニーを行い、チャレンジデーのメインイベントとして、同ホテルのグラウンドゴルフコースで開催された、仙北市民交流グラウンドゴルフ大会には、220名以上の参加がありました。

本年度は、午後6時から地域の主な体育館の無料開放や地域の会長、婦人会の皆さんによる参加票の回収、各地域運営体の独自の活動、総合型地域スポーツクラブによる運動機会の提供など、新しい取り組みが行われ、これまでにない活発なチャレンジデーであったと感じております。

市民等の参加率は46.1%で、目標としていた金メダルの55

%には届かず、銀メダルとなりましたが、これまでの3年間の最高記録となりました。

対戦相手の福島県会津坂下町の参加率は62.4%で、敗れたのは残念ですが、チャレンジデーを継続することは、年間を通じた市民のスポーツ推進を図るために有効なことであり、今後も運動不足の方を積極的に運動にお誘いする機運を盛り上げ、市民の健康増進につなげて行きたいと考えております。

【文化財課】

◇サクラの開花状況について

今年のサクラの開花状況についてご報告いたします。

今年は、4月の気温が低く推移したため開花が大幅に遅れ、武家屋敷通りのシダレザクラは、例年より遅い4月29日に開花し、5月2日に満開。また、桧木内川堤のソメイヨシノは、5月4日に開花し、5月9日に満開となりました。

4月20日、「角館桜まつり」のオープニングにおいて、重要伝統的建造物群保存地区の東勝楽丁町内と表町町内の2団体に、永年に渡る歩行者天国への協力や歴史的風致の維持活動により、観光行事実行委員会から感謝状が贈呈されました。

また、「桜アドバイザー」として、市で委嘱しております黒坂登氏も、行政職員退職後も桜の管理や生育指導並びに後進の指導にご尽力された功績により表彰されております。

【平福記念美術館】

◇「片岡鶴太郎展」について

4月13日から5月19日まで開催された片岡鶴太郎展「角館桜舞」は、37日間で17,481人のご来場をいただきました。連休、桜の見ごろとあって、県外からのお客様も多く、美術館を初めて訪れた方も多かったと思います。企画展と同時に常設である平福穂庵、百穂の作品も大勢の方にご覧いただく機会となりました。今

後とも、平福記念美術館の魅力を全国の皆さんに発信できるよう努めて参ります。

◇「^{ぶな}櫛の会 2013」について

5月25日からは、秋田を故郷とする美術作家28人による「郷土秋田に集う 櫛の会2013」を開催しております。日本画、油彩、写真など、現代作家の多彩な展示となっております。是非、大勢の皆さんに、郷土秋田出身作家の個性あふれる作品を楽しんでいただきたいと思ひます。

◇「女流画家協会 秋田角館展」について

7月13日からは、「女流画家協会 秋田角館展」を開催します。平成17年に開催したときも、女性らしい華やかさと繊細さにあふれ、芸術を楽しむ活気に満ちた展示会でありましたが、今回は、会期の途中に展示替えを行い、前期と後期に分けての展示となります。具象、抽象の分野を超えた、女流画家の華やかな作品群をご覧くださいと思ひます。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。